

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2017年4週の県全体の定点当たり報告数は、3週の37.90からさらに増加し51.40となった。急な増加が続いており、今後も流行状況に注意が必要である。

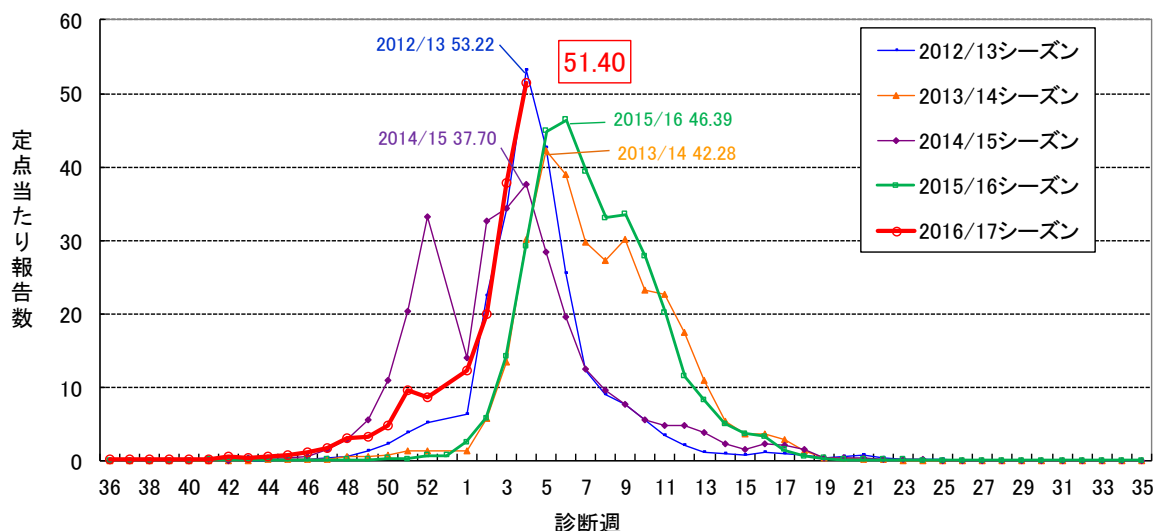
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中15保健所管内で増加し、君津(75.31)、印旛(70.25)、市原(64.64)、松戸(63.28)、船橋市(58.88)、香取(52.00)が多い。

2017年4週の年齢群別報告割合は、5～9歳27.9%、10～14歳21.2%、0～4歳15.9%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳22.9%、10～14歳18.8%、0～4歳14.9%が多かった。

2017年4週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、10,487例中A型10,090例(96.2%)、B型347例(3.3%)、A and B型6例(0.1%)、A or B型44例(0.4%)であった。2016/17シーズン合計では、31,851例中A型30,903例(97.0%)、B型791例(2.5%)、A and B型20例(0.1%)、A or B型137例(0.4%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

